

J R関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会

開催結果（第19回）

1. 日 時

令和3年9月24日（金）午後3時から午後5時20分まで

2. 場 所

WEB会議にて開催

3. 出席者：委員16名（うち代理2名）、オブザーバー1名（うち代理1名）

4. 議題等

(1) 協議事項

協議第1号 令和3年度補正予算（案）

＜承認＞

協議第2号 計画策定方針

＜承認（一部修正）＞

協議第3号 圏域内の移動実態及びニーズ調査の説明

＜承認（一部修正）＞

協議第4号 対象地域の現況整理

＜承認（一部修正）＞

協議第5号 現計画の目標達成状況

＜承認（一部修正）＞

協議第6号 取組進捗状況

＜承認＞

協議第7号 広域バスのダイヤ変更（10月～）

＜承認＞

(2) 報告事項等

報告第1号 相楽東部広域バスの利用状況

5. 主な発言

(1) 協議事項

協議第1号 令和3年度補正予算（案）について

➤ 特になし

協議第2号 計画策定方針

協議第3号 圏域内の移動実態及びニーズ調査の説明

➤ 計画には自分達がやらなければならないは何なのか、それがどうしたらできるのかという作戦を盛り込むほか、協議会の委員だけではなく、地域の人が協力していき

たいと思ってもらえるようなものにする。

- 各自治体で計画を策定する場合もあるが、生活圏をベースに考えていく必要があるため、3町村の計画だけにしたいと考えている。
- 高齢者の通院と買い物に影響がある動きについては把握する必要がある。
- 11月に地域懇談会やシンポジウム、圏域住民交流会を実施する予定になっているが、早めに調整していただきたい。
⇒ご意見を踏まえ、計画策定を進めるほか、日程調整を速やかに行う。(事務局)

協議第4号 対象地域の現況整理

- 資料4の8ページの笠置町の通勤・通学流動が、データとして合っているのか確認して欲しい。
- 45ページの上位計画のまとめについて、相楽東部広域連合第2次広域計画は平成30年度までの計画となっているが、改訂されていないということで良いか。木津川市や伊賀市の計画については、位置付けの書き方が不正確である。また、結びつきの深い奈良市も加えたほうが良いのではないか。
- 京都府の「明日の京都」山城地域振興計画は、「京都府総合計画 山城地域振興計画」に訂正をお願いしたい。
- 犬打峠トンネルについては、和束町と宇治田原町をつなぐものでインパクトが強いことから記載しなければならない。
- 犬打峠トンネル開通によるバス路線の新設については、宇治田原町との情報共有を図り、この計画に入れることがあれば入れることにしていただきたい。
⇒ご意見を踏まえ、資料を修正する。(事務局)

協議第5号 現計画の目標達成状況

協議第6号 取組進捗状況

- 目標達成状況は、目標値の達成状況だけでなく、具体的施策の取組状況についての評価が必要だと考えている。なぜできなかったのか、なぜできたのかを踏まえて、次の計画での具体的施策につなげていくことが必要ではないか。
- JR西日本の減便を注視している。奈良～加茂間の減便についてどう対応していくのかについて議論していただきたい。
- 加茂駅の接続時間を堅持するということを目標に設定することも考えられる。目標に設定されていないと保証されない。現況整理においても接続について整理されていない。
⇒ご意見を踏まえ、目標に対する取組状況の評価を行うこととする。(事務局)
- 現状において目標に進展がみられない中、進展させるためにどのような施策を講じ、また住民を含め関係者に意識してもらおうための施策を考える必要があり、そのためのスケジュールを示す必要があるが、現在のスケジュールで良いのか。

- 計画策定の手順として、問題点の抽出や課題整理等を行い、施策を検討した段階で住民や事業者に問うことが必要である。現状の場合、中間案と最終案の間にパブコメしかない。
- スケジュールが非常に心もとないので、再検討してほしい。
- 計画に基づき、どのようなことを実現していくか、そこに重点を置き、考えを進めていく必要がある。支局に相談して連携しながら進めて欲しい。
- 計画には、関係者全員が何をするのか、関係者と協力して何をするのかを記載する。その何をするのかの根拠として、この計画で何を達成しようとしているのかを示すため、関係者全員が納得していなければならない。我がごとで考えていただくためには、発言していただき、フィードバックしていただく必要がある。
⇒ご意見を踏まえ、計画策定のフロー及びスケジュールを見直す。(事務局)

協議第7号 広域バスのダイヤ変更(10月～)

- JR西日本のプレスリリースを見ると、通常はダイヤ改正だが、今回はダイヤ見直しと記載されている。3町村のバスについても改正ではなく見直しとすべきである。
- 町村のバスダイヤの見直しについても、JRが減便するために実施するという意図、「JRダイヤ見直しに伴う、接続確保のためのダイヤ見直しについて」と書く必要がある。何のためにやるのかが地域住民にわかるように書いて欲しい。
⇒ご意見を踏まえ、対応することとする。(事務局)

(2) 報告事項

報告第1号 相楽東部広域バスの利用状況

- 相楽東部広域バスの土曜日の運行については、どうするのか。週4日の運行内容についても今後検討していく必要がある。
- 「相楽東部広域バスの利便性の改善を求める要望書」が地域住民から提出された。具体的内容は、自由乗降や集落内の運行、バス停の増加について要望がされている。
- 本協議会で検討するために、今後は会長宛に要望書を提出して欲しい。バス停の増加は地域住民の協力が必要である。
⇒要望書については、会長宛に提出するよう地域住民に伝える。またその要望書を会長に提出する。(事務局)

以上